



献血でつながぐ 命のリレー

命を救うボランティア

献血者が減少しがちな冬期間において、輸血が必要な人に安定的に血液を届けるため、献血へのご協力をお願いします。

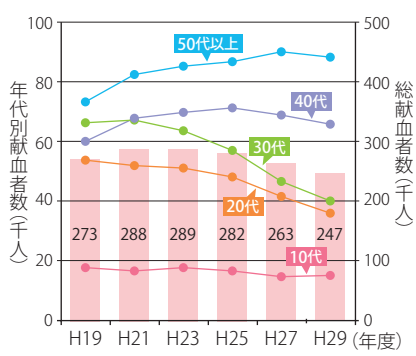
問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720）、北海道赤十字血液センター帯広出張所（東7南9、☎25・0101）

必要な人に届けられなくなる？

治療などで輸血が必要となる人の約85パーセントは50歳以上で、高齢化による増加が見込まれます。

一方、献血者数は減少傾向にあり、中でも20代・30代の献血者が大きく減少しています。（図）

図 北海道の献血者数の推移（年代別と総献血者数）



若年層の献血離れが続くと、輸血が必要な人に血液が届けられない事態になる恐れがあります。

献血者は冬期間に減少する

冬期間は風邪で体調の優れない人や薬を服用する人、悪天候の影響などで外出を控える人が増えるため、献血者が減少し、輸血用の血液が不足しがちです。

献血は16歳からできる

献血は、16歳から69歳までの一

定体重以上の健康な人であれば、原則誰でもできます。（表）

表 採血基準

種類	全血献血	
	200 ミリリットル	400 ミリリットル
年齢	男性	16～69歳*
	女性	18～69歳*
体重	男性	45キロ以上
	女性	40キロ以上

*65歳以上は、60～64歳の間に献血経験がある人

推奨

なお、体調の優れない人や服用している薬の種類によっては、制限される場合があります。また、血液の在庫状況によっては200ミリリットル献血をご遠慮いただく場合があります。

40分で助かる命がある

献血にかかる時間は、受け付けから採血後の休憩までで約40分（400ミリリットル全血献血の場合）。実際に採血をしている時間は、平均10～15分程です。

輸血を必要としている人は1日平均約3000人で、それを賄うには1日約1万3000人の献血が必要です。

血液は人工的には造れません。

血液から造る血液製剤の有効期間は短いものでは4日間しかなく、長期保存ができないため、多くの皆さんの継続的な協力が必要です。

献血に行こう



検索

平日の献血

献血バスが企業や商業施設などを巡回します。日程は北海道赤十字血液センターのホームページで確認するか、血液センターまで問い合わせください。



北海道 赤十字献血センター

日曜日の献血

日時 毎週日曜日、9時～12時、13時15分～17時

場所 帯広すずらん献血ルーム（東7南9、☎0120・245125）

帯広すずらん献血ルーム



はたちの献血キャンペーン

期間中、献血にご協力いただいた10代・20代の人に、オリジナルグッズをプレゼント。

実施期間 2月28日(木)まで



社会の仕組みを 楽しく学ぶ

おびひろキッズタウン2018

問い合わせ

青少年課（市庁舎3階、☎65・4162）



おびひろキッズタウン 検索

子どもの職業体験 おびひろキッズタウン



昨年の11月3日、とかちプラザを会場に、市と市教育委員会、北海道コカ・コーラボトリングは、7回目となる職業体験イベント、子どもたちだけの仮想のまち「おびひろキッズタウン2018」を開催しました。

子どもたちは、30種類の仕事の中から、好きな仕事を体験し、給料として受け取った疑似通貨を使って、別の子どもが働くお店で、食べ物や飲み物などを買うことができます。

当日は、市内の小学3・4年生360人が参加した他、26の企業・団体と学生ボランティアの皆

さんにご協力いただきました。子どもたちは、パティシエとしてケーキの製造や販売をしたり、大工として家を組み立てたり、美容師としてヘアアレンジを行うなど、給料を受け取ることの苦労や喜び、地域に実際にある職業について学びました。

参加した子どもたちからは、「今まで知らなかった仕事を知ることができた」「将来なりたい職業が見つかった」「両親の大変さがわかった」などの声が聞かれました。おびひろキッズタウンは、次年度も10月末～11月頃に開催を予定しており、小学校を通じて9月頃に周知を行う予定です。

カップケーキをデコレーションしました

パティシエ

マネキンを使って髪のセットやパーマをかけました

美容師

小さな家の組み立て、解体を体験!

大工

雑誌編集者を体験した子どもたちが作成した紙面はこちら

十勝毎日新聞電子版 おびひろキッズタウン 2018特設ページ